

H25-⑤「パークマネジメントプラン」に関する調査研究

調査項目 ⑤「パークマネジメントプラン」に関する調査研究

調査年次 平成25年度（9次調査）

目的

近年「パークマネジメント」や「公園経営」という言葉が使われるようになったが、これらの言葉の概念は、使用する自治体の事情に応じて定義や体系化の方法に様々な工夫が見られる状況である。こうした状況を踏まえ、本調査では「パークマネジメント」「公園経営」についての共通認識を図り、「パークマネジメントプラン」の状況と課題を明らかにしたうえで、今後ストックを活かした体系的な公園管理を行っていくために必要な、パークマネジメントプランのあり方について検討を行った。

概要

事例調査として、国内のパークマネジメントプランの策定と運用状況の把握、外でのパークマネジメントの実践状況、アンケート調査、ヒアリング調査を行い、パークマネジメントプランの現状と課題、パークマネジメントプラン策定に向けた検討、パークマネジメントプランのあり方、今後の課題についてとりまとめた。

結果

1.国内のパークマネジメントプランの策定と運用状況

国内のパークマネジメントプラン等の策定事例として13事例が示された。

2.海外でのパークマネジメントの実践状況

限られた事例（サンフランシスコ市、シアトル市、バンクーバー市等）の概観であるが、これらの事例からは、実効性を高める仕組み（収支計画、評価システム、実施体制）がパークマネジメントプランおよびその推進システムに盛り込まれていることが示された。

3.国内外のパークマネジメントプランの策定・運用状況のまとめ

パークマネジメントプランは、管理運営を主な内容とし、対象とする公園についての今後のあり方とその実現手段（施策・事業）を示したその自治体の公園づくりに関する基本計画（マスタープラン）であることが多い。

4.「パークマネジメントプラン」の現状と課題の整理

パークマネジメントプランは、基本的に課題解決・目的達成を指向した構成となっていて、計画の対象と範囲、目的・目標とするものに応じ、それらに適した要素によって構成される。

策定の段階では、計画を作るという動機づけや意思統一が重要であり、それらは作った計画を運用する原動力にもなる。

他方で、計画推進には進捗状況の定量的な指標となる数値目標の設定、計画の実行に必要な予算の裏付けの確保が容易ではないなど、計画の推進・運用における課題となっている。

5.パークマネジメントプランの推進・運用のあり方

パークマネジメントプランは計画書としてのプランそのものに加え、プランを推進・運用するための仕組み作り（全体システムとしての広義のパークマネジメントプラン）を行う必要がある。

6.今後の課題・まとめ

策定したプランと予算など推進する仕組みとのすり合わせを図る、幅広い情報収集や柔軟な使い分けにより、数値目標の導入・活用を進める

調査結果の反映等

キーワード

パークマネジメントプラン、指定管理者、公園経営、評価

事例公園等

柏市パークマネジメントプラン、あだち公園いきいきプラン、名古屋市公園経営基本方針